

平成29年6月26日（月）、安来市立布部小学校において、第1回みーもスクールを開講しました。1～2年生7名に対して、島根県森林インストラクターの中村正志氏等により、学校林にて樹木学習を行い、落ち葉等を使った「葉っぱアート」の指導を行いました。



学校林に入る前に注意する事を本の挿絵を参考にしながら質問形式で確認しました。



樹木には色々な特徴があること。普段見慣れている物も、見ているようで見ていない事、観察する事の意味を学びました。

途中で色々な葉っぱや木の実を袋にいっぱい集めました。



学校林内で集めた植物で絵を描きました。それをデジカメで撮ってスクリーンに写し発表会をしました。



平成29年9月12日（火）、安来市立布部小学校において、第2回みーもスクールを開講しました。今回の対象1～2年生7名に対して「森の大切さ」「木切れ工作」の指導を行いました。



池田氏が「森の大切さ」の話をスクリーンや絵を見ながらわかりやすく説明しました。蜂がいなくなるだけで森が大変なことになることから、自然界の中でそれぞれが大切な役割をしていること、みんな大切な仲間なのだという事を学びました。



木切れを使って工作をしました。木のチップを使う際のルールや注意点を説明してから、思い思いの作品を作りました。初めてホットボンドを自分で使えたと喜んだ児童もいました。



作品を並べて発表し、全員が今日の感想を楽しそうに話してくれました。

平成29年9月13日（水）、安来市立布部小学校において、第3回みーもスクールを開講しました。クラブ活動の3年生～6年生11人に対して、「森林保全の大切さ」の話と「間伐体験」の指導を行いました。



「森林保全の大切さ」について、スクリーンを使って話しました。対象が3年生以上だったので、以前話した「森の話し」のおさらいをしながら、間伐の大切さにつながるお話をしました。



安全に作業するための基本的な話を聞いてから、安全帯を使って間伐する木にロープを付ける体験を代表者がしました。うまく木にロープが掛けられるように下から皆で応援をしました。



野田氏がチェーンソーで切れ目を入れてから、全員で力を合わせてロープを引っ張り、安全かつ正確な場所に木を切り倒しました。安全な鋸の使い方を学んでから、枝打ち作業を全員で行いました。



みんなで力を合わせて決めた場所に運んだり、年輪の話の聞いたり、輪切りにしたヒノキを1枚ずつ割れが入らないように乾燥する宿題をだされ、喜んで大事そうに持ち帰りました。

平成29年10月11日（水）安来市立布部小学校において、第4回みーもスクールを開講しました。今回の対象3～6年生11名に対して、「間伐材の和紙づくり」の指導を行いました。



導入として「和紙についての話し」をしてから実際に自然の物だけを使った和紙作りを体験しました。



タブの葉をミキサーにかけて漉したものは、ヌルヌルとした粘りがあり、児童には初めての感触だったようで、驚いていました。



野々村氏に紙漉きの話を交えて実演をして頂きました。みんな失敗しないように真剣に取り組みました。世界に自分だけの1枚ができました。



最後に数人から感想を聞きましたが、殆どの児童が初めての体験で、紙がどうしてできるのかがわかり、自分で作ることができて嬉しかったようです。

平成29年11月13日（月）、安来市立布部小学校において、第3回みーもスクールを開講しました。今回の対象1～2年生7名に対して、最初に焼き芋の仕込みをして、飾り炭をつくりました。教室で炭焼きの話聞き、焼き芋の試食をしました。



2名の松江市職員の方が研修として参加されました。食品を扱う時には衛生が第一だという事を話し、手洗いをして、失敗しない焼き芋の包み方のコツを話し、熾火で焼き芋の仕込みをしました。



続いて、飾り炭の材料を説明し、好きな実や竹、松葉等をアルミホイルに包み、専用の缶に入れ、火にくべて、飾り炭を作りました。



飾り炭のできばえをみんなで見た後、炭はどのようにしてできるのか？炭窯の絵を書いて話しました。森の名手・名人の響氏の里山での暮らし方を紹介しました。

焼き芋を無煙炭火器から出し、クロモジ茶と一緒に試食しました。